MITSUBISHI

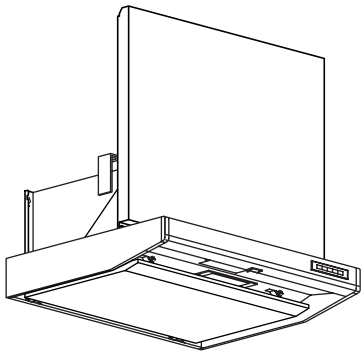
1206875HD0102

レンジフードファン

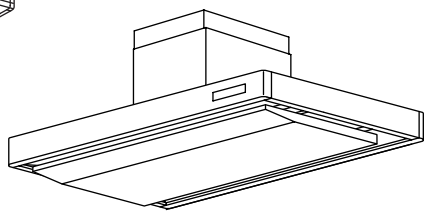
タイプ	形　名
フラットフード形	V-6027SL-BL　V-6027SSW-BL V-6037SL-BL　V-6037S-BL　V-6037SSW-BL V-6047SL-BL　V-6047S-BL　V-6047SSW-BL V-754S　V-904S
センターフード形	V-90CF
サイドフード形	V-90SF-L　V-90SF-R

取扱説明書　お客様用

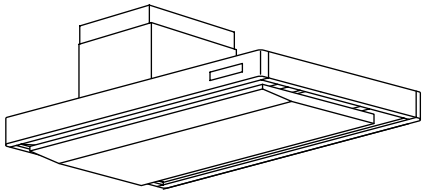
フラットフード形



センターフード形



サイドフード形



もくじ　ページ

安全のために必ず守ること……2
使用上のご注意……3
各部のなまえ……4
使いかた……5～8
　操作方法……5
　お手入れサイン
　（センターフード形、サイドフード形）……6～7
　リモコンの使いかた
　（センターフード形、サイドフード形）……7～8
お手入れ……8～12
　本体外装とフードのお手入れ……8
　スイッチのお手入れ……8
　上幕板・ダクトカバーのお手入れ……8
　整流板のお手入れ……9
　フィルターのお手入れ……10
　シロッコファンのお手入れ……11
故障かな？と思ったら……12
保証とアフターサービス……13
ご相談窓口・修理窓口のご案内……14
仕様……15

●お客様ご自身では据付けないでください。（安全や機能の確保ができません）

●ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

⚠警告　誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止

ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しをしない
爆発や引火の原因。
窓を開けて換気してください。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない
（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、引っ張ったりしない）
感電・ショート・火災の原因。

内釜式風呂を設置した住宅では使わない
排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒の原因。

指定部品以外は使用しない
火災・感電・落下によるけがの原因。

水かけ禁止

製品に水や洗剤をかけたりしない
ショートや感電の原因。

分解禁止

改造や工具を必要とする分解はしない
火災・感電・けがの原因。
分解・修理は修理技術者のいる販売店、または当社の修理窓口・ご相談窓口にご相談ください。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電・けがの原因。

指示に従う

交流 100V を使用する
直流や交流 200 V を使用すると火災・感電の原因。

電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭く
火災の原因。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
感電や火災の原因。

自然排気形のストーブを使う部屋では、部屋の空気取入れ口を設ける
排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒の原因。

異常・故障時には、直ちに使用を中止する
そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。
〈異常・故障例〉
- スイッチを入れても羽根が回転しない。
- 回転中に異常音や振動がする。
- 回転が遅いまたは不規則。
- こげ臭いにおいがする。
- 本体取付部に腐食・破損等がある。　等

※すぐに電源プラグを抜くか、分電盤のブレーカーを切って販売店へ点検修理を依頼する。

プラグを抜く

ランプを交換するときやお手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカを切る
通電状態では感電やけがの原因。

⚠注意　誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止

本体に異常な振動が発生した場合は使用しない
本体・部品の落下によるけがの原因。

フードの上面に調味料などの物を置かない
落下によりけがの原因。

接触禁止

運転中は危険ですから、羽根の中に指や物を入れない
けがの原因。

指示に従う

お手入れの際は手袋を着用する
金属などの端面によるけがの原因。

お手入れ後の部品の据付けは確実に行う
落下によりけがの原因。

電源プラグを抜くときには、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
感電やショートによる発火の原因。

指定のランプを使用する
間違ったランプを使用するとランプ周辺が高温になり、やけどの原因。

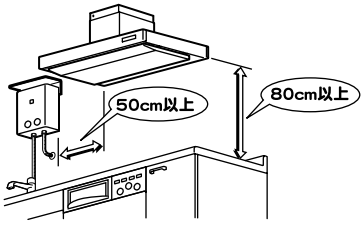
プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカを切る
絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因。

使用上のご注意

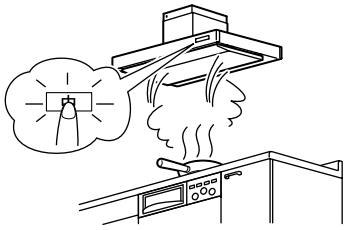
室内周囲温度は40℃以下で使用する また、下図の寸法になっているか確認する

●本体の下端から加熱機器または、IHクッキングヒータまでは80㎝以上必要です。所定の寸法が確保されていない場合は販売店にご相談ください。



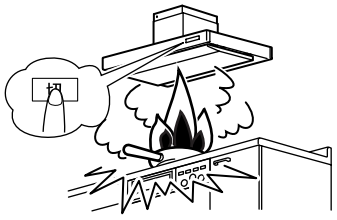
（モータ故障や排気ガスによる塗装面のサビ発生の原因になります）

加熱機器を使用するときは、必ずレンジフードファンを運転する



（レンジフードファンを運転しないと、本体内の温度が高くなり故障の原因になります）

料理中、誤ってフライパンなどの油に火がついたときは、ふたをするなどして火を消す。同時にレンジフードファンの運転を停止する



（レンジフードファンを運転していると火の勢いがさらに強くなります）

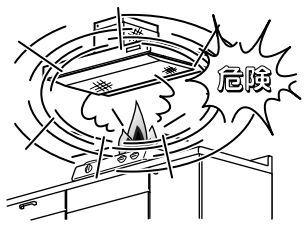
建物全体の換気には他の換気扇を併用する

●レンジフードファンは局所換気用です。

風の影響を受けやすいため、近くの窓を閉めて使用する

（油煙等の捕集効果がよくなります）

加熱機器を空だき状態で長時間使用しない フランベのように炎の出る調理を行わない

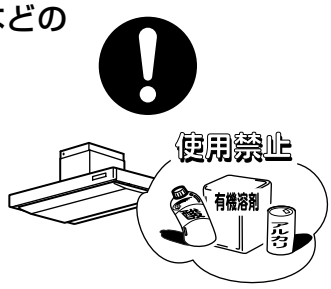


（故障の原因になります）

屋外排気口下側には油煙がかかる場合があるので、物を置かない

（植木が枯れたり、物が汚れる原因になります）

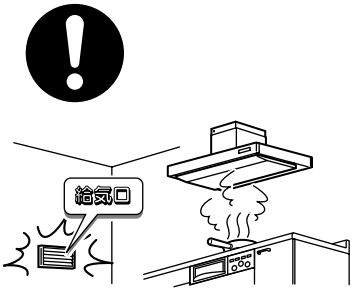
製品に酸・アルカリ・有機溶剤などの薬品がかからないか確認する



（サビ発生の原因になります）

レンジフードファンを運転中は給気を行ってください

●レンジフードファンの反対側の壁に給気口を設けるか、部屋の扉（窓）を少しあけてください 密閉された建物では、汚れた空気を排出するためには新鮮な空気の入るところ（給気口）が必要です。



本製品のフィルターに市販の繊維フィルター等を取付けない

（火災予防条例上使用が制限されたり、風量低下の原因になります）

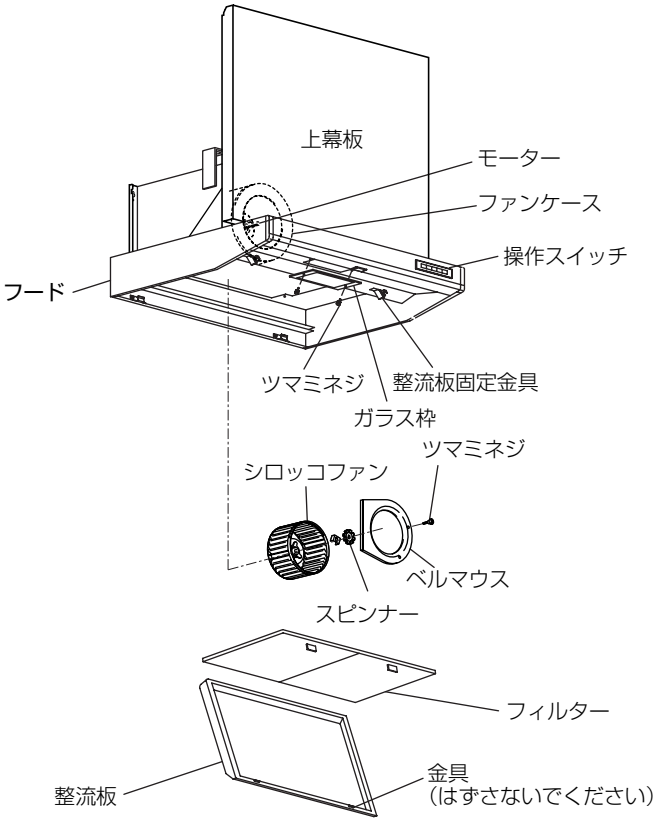
IHクッキングヒーター（電気コンロ）等を使用して、室温が低い時に（約10℃以下）、蒸気が多量に出る調理をされますと、製品表面に結露（水滴）が生じる場合があります。その際は、ご面倒ですが滴下する前に乾いた布等にて拭き取ってご使用ください。

IHクッキングヒーターの周辺に空調機や給気口からの風等が直接あたらないようにしてください

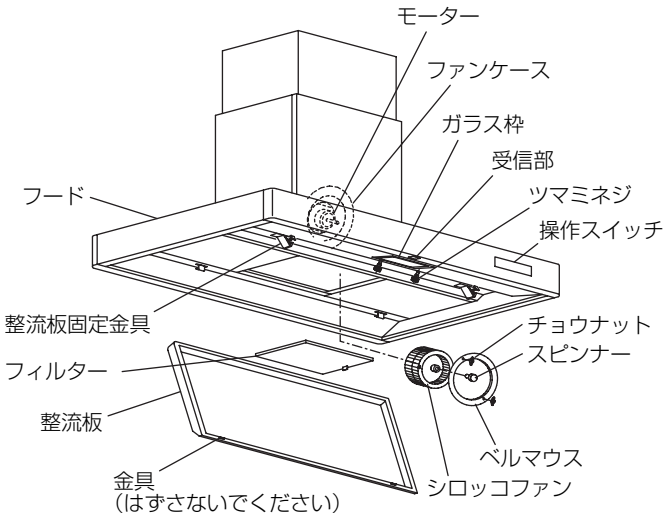
（油煙等の捕集性能が低下する原因となります）

各部のなまえ

フラットフード形

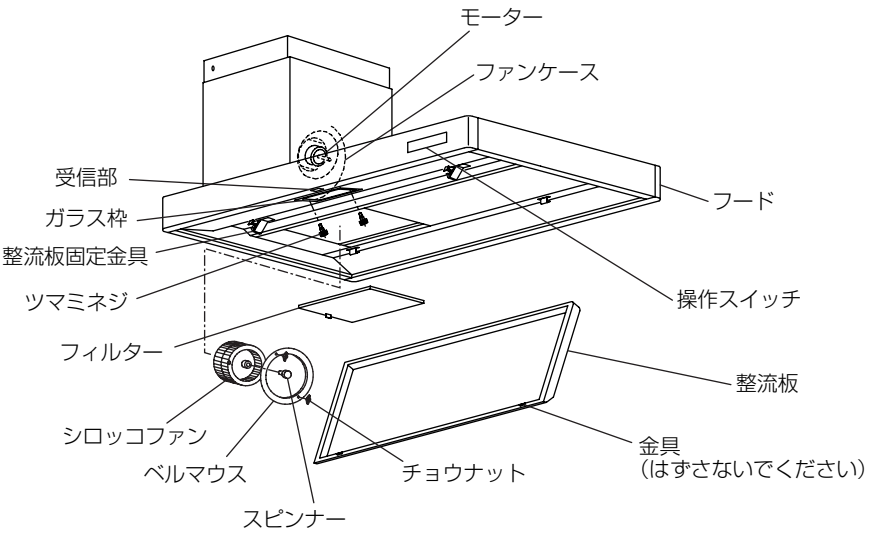


センターフード形



サイドフード形

本図はLタイプを示します



使いかた

操作方法

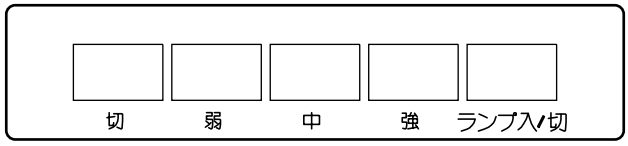
●スイッチまたはリモコンのボタンでレンジフードファンの運転を選択してください。

切	弱・中	強	ランプ
運転を止めるとき	油煙の少ないとき 調理後の脱臭をするとき	油煙が多いとき	手元が暗いとき 一度押すとランプ点灯 もう一度押すと消灯

●レンジフードファンのタイプによって操作方法が異なります。

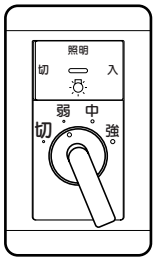
■フラットフード形の場合

■操作スイッチ



V-6027SL-BL
V-6037SL-BL V-6037S-BL
V-6047SL-BL V-6047S-BL
V-754S V-904S

■壁スイッチ



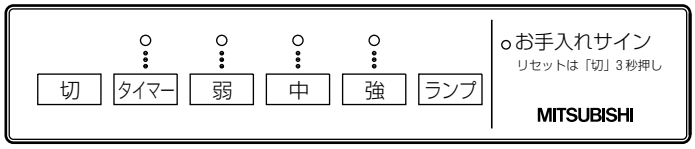
V-6027SSW-BL
V-6037SSW-BL
V-6047SSW-BL

■センターフード形・サイドフード形（V-90CF、V-90SF-L、V-90SF-R）

●操作スイッチ（切、タイマー、弱、中、強、ランプの枠内）に軽くタッチするだけで動作します。
強く押しすぎないよう注意してください。

●操作スイッチは一つずつ操作し、複数のスイッチを同時に押さないでください。

■操作スイッチ



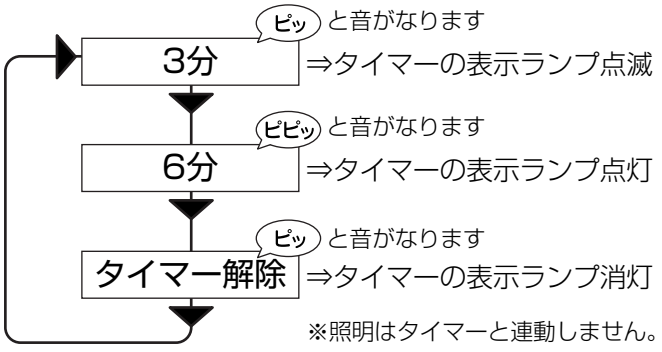
■リモコン（付属品）※乾電池付属

タイマー運転（センターフード形、サイドフード形）

●調理後の熱気やにおいを排出するときなどに使用します。
レンジフードファンを運転中にタイマーボタンを押すことで、設定時間運転後に自動停止します。

■タイマーの設定方法

タイマースイッチを押すごとに設定が切替わる



※照明はタイマーと連動しません。

使いかた　つづき

レンジフードファン赤外線連動機能付加熱機器と組み合わせてご使用になる場合（センターフード形、サイドフード形）

- 加熱機器を加熱開始（着火）すると、レンジフードファンは自動的に運転を行います。風量は、連動開始時の運転状態により自動で設定されます。（右表参照）

（注）加熱機器の機種によっては、異なる動作をする場合があります。加熱機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

連動開始時の運転状態	加熱開始(着火)すると
停止	中運転
弱運転	
中運転	
強運転	強運転

- 加熱機器を加熱停止（消火）すると、レンジフードファンはそのままの風量で自動的に約３分または約６分で運転を停止します。（右表参照）

レンジフードファンの運転状態	加熱停止(消火)すると
タイマー解除（表示ランプ消灯）	3分後停止
3分タイマー設定（表示ランプ点滅）	3分後停止
6分タイマー設定（表示ランプ点灯）	6分後停止

- レンジフードファンの風量切替および照明の「点灯 / 消灯」などの操作を加熱機器の操作スイッチで、できる機種もあります。
（詳しくは、加熱機器の取扱説明書をご覧ください）

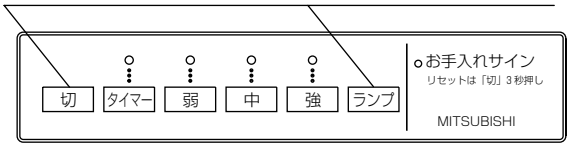
■加熱機器との連動を解除したいとき

（工場出荷時は、［連動する］に設定）

- レンジフードファンの風量切替および照明の「点灯 / 消灯」などの加熱機器での操作は解除後も使用できます。

- **切スイッチを押しながら、ランプスイッチを４回押す。**
  - 確認ブザーが鳴り、[連動する］と［連動しない］が切替わります。
    [連動する] → [連動しない] :「受付音（ピッピーピッ）」
    [連動しない] → [連動する] :「受付音（ピッピーピピッ）」
  - コンセントを抜いたり、電源ブレーカを切ったり、停電があった場合、設定は初期設定に戻ります。連動設定を変更した場合は、設定し直してください。

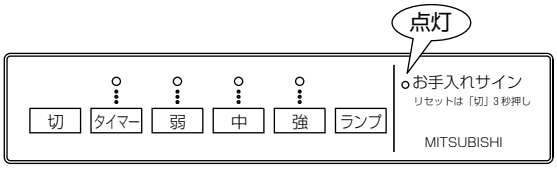
切スイッチを押しながら、ランプスイッチを４回押す。



お手入れサイン（センターフード形、サイドフード形）

■使用方法

- センター・サイドフード形にはフィルターのお掃除時期をお知らせする機能があります。お手入れサインを目安にしていただき、定期的にお手入れしてください。



1.フィルターのお掃除時期がきたら、お手入れサインの表示ランプが点灯します。

2.フィルターをお掃除してください。

3.お掃除後、切スイッチを3秒間押して、表示ランプを消灯させてください。

お願い

- お手入れサインはレンジフードファンの使用時間と使用回数から算出して出します。初期設定（工場出荷時）は標準設定（約 30 日）になっています。
- レンジフードファンの使用条件により、フィルターの汚れの進み方はご家庭ごとで異なります。お手入れサインが早かったり、遅かったりする場合は期間設定を変更してください。
- コンセントを抜いたり、電源ブレーカを切ったり、停電があった場合、設定は初期設定に戻ります。期間設定を変更した場合は、設定し直してください。

■お手入れサインの期間設定を変更する場合

1.レンジフードファンの運転を停止する。

2.切スイッチを15秒間押す。

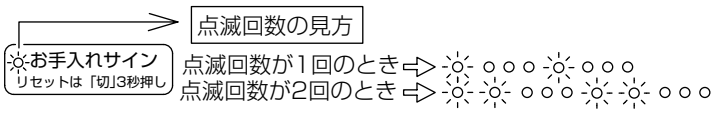
- タイマー表示ランプが点滅し、設定モードが開始します。⇒受付音（ピッピッピッ）
- 切スイッチから指を離すと、設定モードが終了しますので、押し続けてください。

3.切スイッチを押しながらタイマースイッチを1回ずつ押し、期間設定を変更する。

- タイマースイッチを1回押すごとに、下記のように期間設定が順番に変更します。同時に、お手入れサインの表示ランプの点滅回数も変更します。

≪初期設定≫

期間設定（目安）	標準（30日）	やや長め（45日）	長め（60日）	設定無し	短め（20日）
お手入れサインの表示ランプ点滅回数	2回	3回	4回	0(消灯)	1回



4.期間設定を変更したら、切スイッチから指を離す。

- タイマーとお手入れサインの表示ランプが消灯し、設定モードが終了します。⇒「受付音（ピッピッピッ）」

■お手入れサインの期間設定を確認する場合

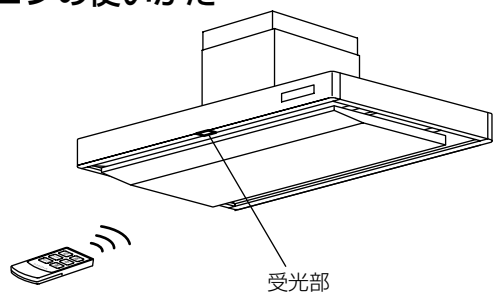
1.切スイッチを15秒間押して、設定モードを開始してください。

2.お手入れサインの表示ランプ点滅回数で期間設定を確認してください。

3.確認できたら、切スイッチから指を離して、設定モードを終了してください。

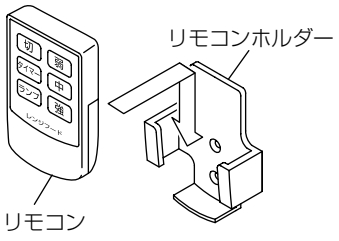
リモコンの使いかた（センターフード形、サイドフード形）

リモコンの使いかた



- ご使用の際にはリモコンを手に持ち、フードの受光部に向けて操作してください。

リモコンホルダーの使いかた

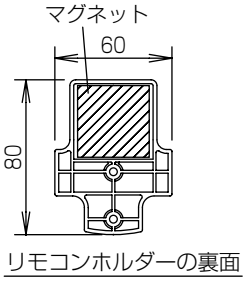


- リモコンをリモコンホルダー上部より挿入します。
- リモコンにはリモコンホルダーが同梱されています。お好みの場所にホルダーを設置してください。

リモコンホルダーの取付けかた

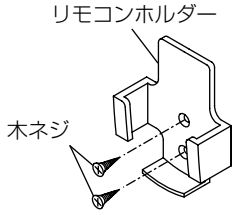
■マグネットによる取付け

- リモコンホルダーの裏面をよくふき、付属のマグネットの両面テープをはがし、所定の位置に貼付ける。
  - ホルダーの準備ができましたら、キッチンパネルなどの金属部分に取付けてください。



■ネジによる取付け

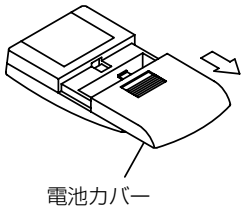
- リモコンホルダーの取付位置を決めて、壁などに付属の木ネジ２本で固定する。

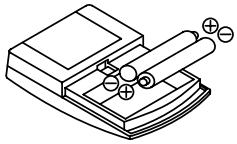


使いかた　つづき

電池の入れかた

1. 電池カバーを矢印の方向にスライドさせて電池カバーをはずす。
2. 乾電池の極性に注意して、乾電池を入れる。（単４形）
3. 電池カバーを元通りに取付ける。





お願い
- リモコンを落としたり、衝撃を加えないでください。
- 水の中に落としたり、濡れた手で操作しないでください。
- 直射日光の当たる場所、加熱機器など高温になる場所の近くには置かないでください。
- リモコンスイッチの信号が届きにくくなったときは、新しい乾電池に２本とも交換してください。
- 乾電池の液漏れによる故障をさけるため、長時間使用しない場合は乾電池を取り出してください。

お手入れ

レンジフードファンが汚れてきたら、下記の方法でお手入れしてください。
本説明書以外の清掃方法については販売店にご相談ください。

⚠警告

お手入れの際は、加熱機器も電源プラグを抜くか、分電盤のブレーカを切る
連動運転で使用している場合モータが動きだしけがをするおそれがあります。
お手入れの際は、分電盤のブレーカを切る
感電やけがをすることがあります。
工具を必要とする部品の取りはずし、清掃は行わない
工具を必要とする部品例：モータ、その他電気部品
火災・感電・けがの原因になります。

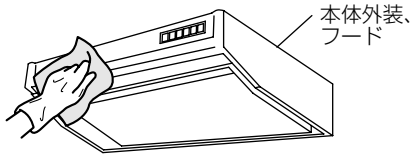
⚠注意

お手入れの際は手袋を着用する
金属等の端面でけがをすることがあります。

お願い
- 作業前に操作スイッチの表示ランプがすべて消灯していることを確認してください。
- **照明ランプ点灯中や消灯直後は清掃しない。**（ランプ周辺が高温になり、やけどをするおそれがあります）
- **部品の取りはずしは慎重におこなう。**（落下により加熱機器などをこわすおそれがあります）
- **お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しない。**
  シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザー等の研磨剤入りの洗剤。（変質したり、塗装がはがれる原因になります）

本体外装とフードのお手入れ　汚れた場合適宜

ご注意
- モータ、操作スイッチなどの電装部品には絶対に水をかけないでください。
- 本体、フードの掃除は、中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取る。



操作スイッチのお手入れ 汚れた場合適宜

フラットフード形

●中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取る。

センターフード形・サイドフード形

●お手入れは洗剤を使用しないで、水ふきで行ってください。
（洗剤を使用されると、操作スイッチの動作が不安定になることがあります）

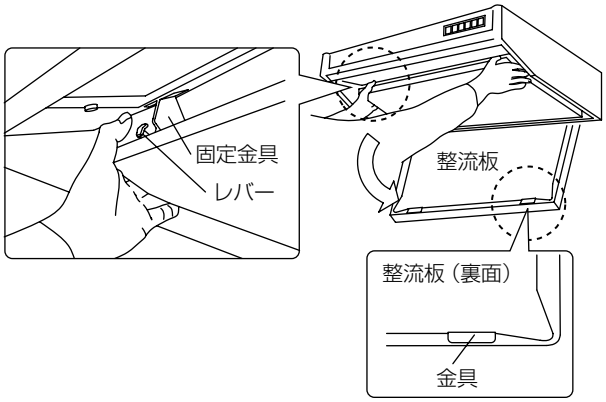
上幕板・ダクトカバーのお手入れ 汚れた場合適宜

●中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないよう十分にふき取ってください。

整流板のお手入れ 汚れた場合適宜

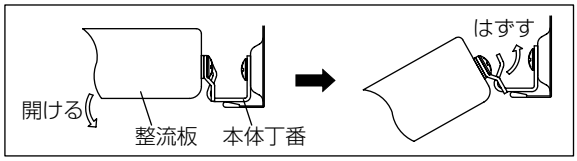
■整流板の取りはずしかた

ご注意 ●整流板をはずす時は、落下や溜まった油などの滴下に注意してください。

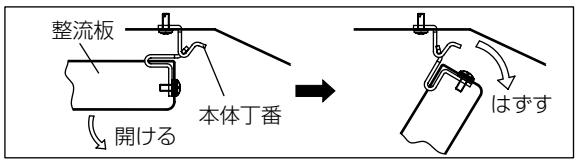


1. 図のように両手で整流板をしっかり支える。
2. 指で固定金具のレバーを下げる。
   ●整流板の金具が固定金具からはずれます。
3. 整流板を両手で支えたまま、後側へゆっくり下げる。
4. 右図のように整流板を本体丁番からはずす。

■フラットフード形



■センター、サイドフード形



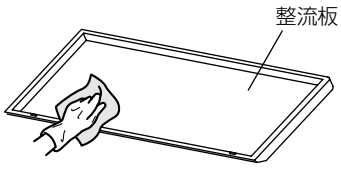
お手入れ　つづき

■整流板のお手入れ

- 整流板の掃除は、中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないよう十分にふき取ってください。

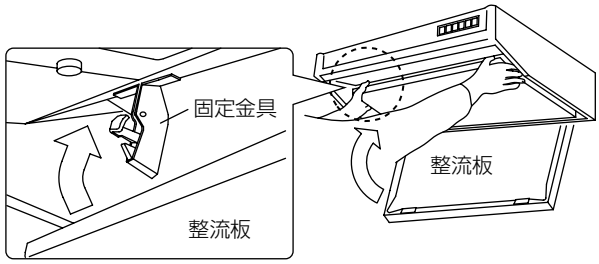
お願い

- 整流板の金具は取りはずさないでください。整流板を掃除する際は金具の端面に注意してください。



■整流板の取付けかた

1. フードの本体丁番に整流板を引掛ける。
2. 整流板を両手で支えてゆっくり起こし、フードの固定金具で整流板を固定する。
   - 片手で整流板の中央を持ち、軽く下に引いてはずれないことを確認してください。



フィルターのお手入れ　1 か月に 1 度以上

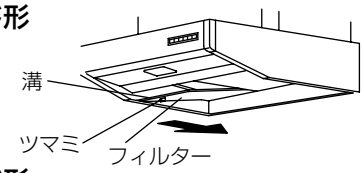
ご注意
- 取りはずす際は、フィルターに手をそえて、落とさないように注意してください。

1. フィルターのツマミを持ち、ツマミと反対側へ押すようにして、溝からフィルターをはずす。
2. フィルターは中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）の中に浸しておいてから、スポンジなどで汚れを落とす。

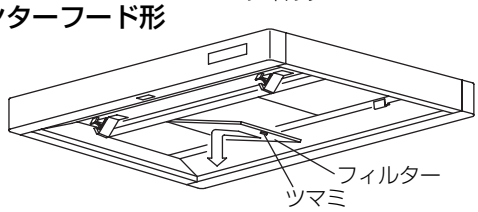
ご注意
- フィルターは変形しやすいものですから、取扱には十分に注意してください。
- 中性洗剤以外では変色する場合があります。

3. お手入れ後は水分をふき取ってから、元どおり取付ける。

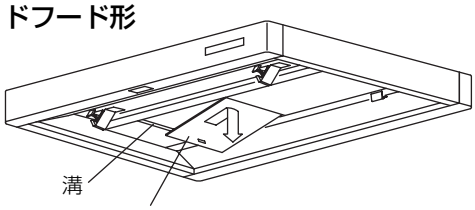
■フラットフード形



■センターフード形

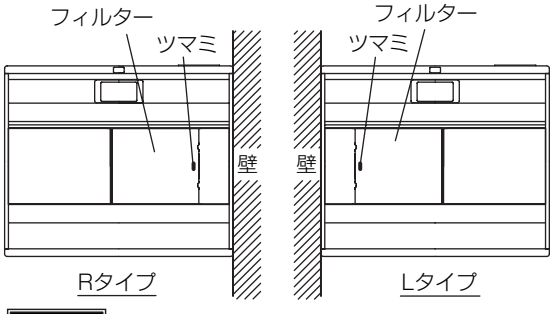


■サイドフード形



※イラストはＬタイプになります

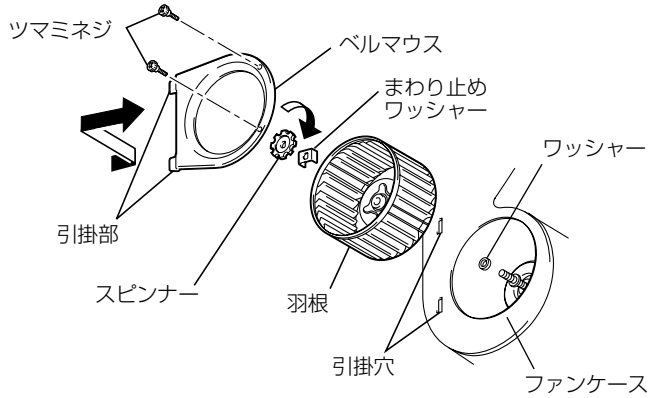
フィルターを取付ける際は、ツマミの位置に注意してください。



ご注意
- ツマミが壁側にくるように配置してください。
- 取付けを誤ると、排気不良や異常音発生の原因となります。

シロッコファンのお手入れ

■フラットフード形



1. ベルマウスのツマミネジをはずす。
2. ベルマウスを右へ動かして引掛部をはずして取る。
3. 羽根を押さえながらスピンナーを右へ回し、ゆるめる。
4. まわり止めワッシャーと羽根をはずす。
5. 羽根は中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸してスポンジなどで軽くこすって汚れを落とし、きれいな水で洗いよく乾かす。

お願い

- ツマミネジが固い場合は、ドライバーを使用してはずしてください。
- 羽根の取扱いには十分注意してください。
  変形すると異常音発生の原因となります。
- ワッシャーをなくさないよう注意してください。

6. 取りはずしと逆の手順で各部品を取付ける。
   羽根をしっかり奥まで押し込み、まわり止めワッシャーを付けてスピンナーを締め付ける。

お願い

- 羽根は確実に取付けてください。
  ゆるむと異常音や部品破損の原因になります。

■センター、サイドフード形

1. ベルマウスのチョウナットをはずす。
2. 羽根を押さえながらスピンナーを「ゆるむ」の方向へ回し、ゆるめる。

スピンナー

3. 羽根を手前に引きはずす。
4. 羽根は中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸してスポンジなどで軽くこすって汚れを落とし、きれいな水で洗いよく乾かす。

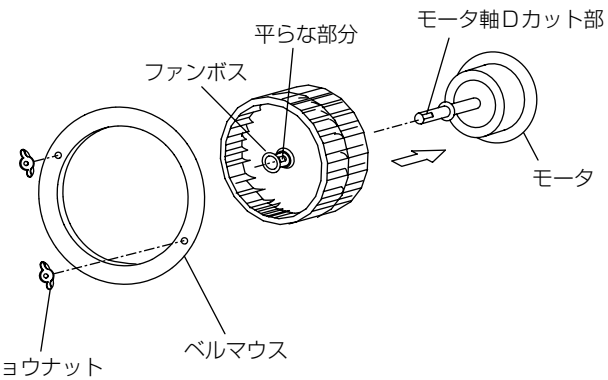
お願い

- チョウナットが固い場合は、ペンチ等の工具を使用してはずしてください。
- 羽根の取扱いには十分注意してください。
  変形すると異常音発生の原因となります。

5. 取りはずしと逆の手順で各部品を取付ける。

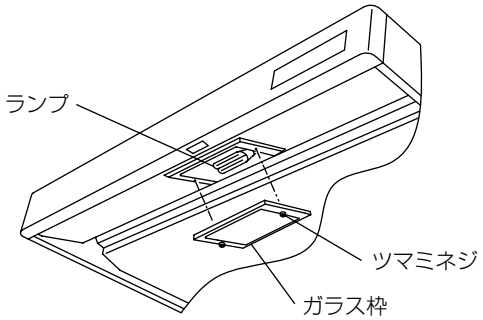
ご注意 【羽根を取付ける場合の注意点】

- 羽根を取付ける場合は、モータ軸のＤカット部にファンボスの平らな部分がくるようにして、はめてください。



お手入れ　つづき

ランプの交換



タイプ	ランプ
フラットフード形	白熱球 100V40W（口金：E17）
センターフード形 サイドフード形	電球形蛍光ランプ EFD15EL 形（口金：E26）

1. 2 本のツマミネジをはずし、ガラス枠をはずす。
2. ランプを交換する。
3. ガラス枠を元どおり取付ける。

お願い

- ネジが固く手でゆるまない場合は、ドライバーを使ってゆるめてください。

故障かな？と思ったら

次のような症状があれば点検してください。点検・処置をしても直らない場合、または下記以外の現象が生じた場合は、分電盤ブレーカを切って必ず販売店に点検・修理をご依頼ください。

こんなとき	原　因	対　策
スイッチを入れても羽根が回転しない 表示ランプが点灯しない	分電盤のブレーカが切れていませんか？	「入」にします
	プラグがコンセントに接続されていますか？	プラグを差し込みます
運転中に異常音や振動がある	本体が確実に取付けられていますか？	販売店へ連絡します
	羽根、スピンナー、整流板、フィルターが確実に取付けられていますか？	取付け直します
	フィルター、羽根に異物が付着していませんか？	清掃します
照明ランプを「入」にしても点灯しない	照明ランプが切れていませんか？	照明ランプを交換します
羽根の回転が止まらない	タイマー運転になっていませんか？	タイマー運転は 3 分または 6 分後に停止します
羽根の回転が遅いまたは不規則	弱で使用しているときに回転が遅い場合	正常です
加熱機器と連動運転しない （赤外線連動機能付の加熱機器を使用する場合）	連動運転の設定を解除していませんか？	連動運転の設定を行います
	加熱機器の信号発信部が汚れていたり、鍋等でふさがれていませんか？	信号発信部の障害物を取り除きます
	加熱機器の送信部に強い光り（直射日光など）があたっていませんか？	光があたらないようにします
	加熱機器が故障していませんか？	加熱機器の販売店へ連絡します
こげ臭いにおいがする	故障です運転停止してください	販売店へ連絡します
リモコンで操作できない	乾電池が古くなっていませんか？	乾電池を交換してください
	乾電池の「＋」「ー」が逆に入っていませんか？	乾電池を正しく入れ直してください
	本体までの距離が遠すぎませんか？	本体受信部の近くでお使いください
	蛍光灯や直射日光の影響を受けていませんか？	
	本体受信部が汚れていませんか？	本体受信部を清掃してください

保証とアフターサービス

アフターサービスは、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」(P.14)にご相談ください。
長年ご使用いただくためには、換気扇のメンテナンスが必要です。モーターは消耗部品です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この換気扇の補修用性能部品を製造打切り後6年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
また、優良住宅部品（BL）についてはその後4年間、補修用同種部品または交換可能な同種製品などを供給します。

■優良住宅部品（BL）について（BLタイプのみ）

この換気扇は（財）ベターリビングにより優良住宅部品の認定を受けたもので、BLマーク証紙を貼り付けてあります。
優良住宅部品が住宅に据え付けられ引き渡されたのち2年以内にメーカー責任不良が発生した場合は、優良住宅部品の保証制度により無償で修理を保証いたします。
また、下記特定部分については優良住宅部品が住宅に据え付けられたのち、3年以内にメーカー責任不良が発生した場合は優良住宅部品の保証制度により無償で修理を保証いたします。

特定部分	羽根、ベルマウス、ファンケース、ケーシング、フード、前面パネル （ただし、モーター等電動機構部品、スイッチを除く）

ただし、下記の事項に係る修理は無償修理保証の対象から除きます。

1．住宅用途以外で使用した場合の不具合
2．ユーザーが適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合
3．メーカーが定める施工説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合
4．建築躯体の変形など住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化または使用に伴う摩擦等により生じる外観上の不具合
5．海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
6．ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
7．火災・爆発等事故、落雷・地震・噴火・洪水・津波等天変地異または戦争・暴動等破壊行為による不具合
8．消耗品の消耗に起因する不具合
9．指定規格以外の電気を使用したことに起因する不具合

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

〔本体への表示内容〕

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容を本体に表示しています。

【製造年】本体に西暦４ケタで表示してあります

【設計上の標準使用期間】15年（フラットフード形）
10年（センター、サイドフード形）

設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

■標準使用条件　JIS C 9921－2による

環境条件	電　　圧	単相100V	
	周 波 数	50Hzおよび60Hz	
	温　　度	20℃	JIS C 9603から引用
	湿　　度	65%	
	設置条件	標準設置	据付説明書による
負荷条件		定格負荷	取扱説明書の「**仕様**」（15ページ）による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間 台　所　　2410時間/年	

〔設計上の標準使用期間とは〕

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件（上表による）に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし、JIS C 9921－2に基づいて上表の想定時間を用いて算出したもので、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

● 「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

ご相談窓口・修理窓口のご案内

■修理を依頼されるときは

●**「故障かな？と思ったら」**（12ページ）を参照し、お調べください。

- なお、不具合があるときは、電源スイッチを切り、必ず分電盤のブレーカーを切ってから、お買上げの販売店にご連絡ください。

●**修理料金は**
技術料＋部品代（＋出張料）などで構成されています。

●**ご連絡いただきたい内容**

1. 品　　名　三菱レンジフードファン
2. 形　　名
3. お買上げ日　　年　　月　　日
4. 故障の状況　(できるだけ具体的に)
5. ご　住　所　(付近の目印なども)
6. お名前・電話番号・訪問希望日

■ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店か下記の「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。

ご相談窓口・修理窓口のご案内（住宅用換気送風機）

取扱い・修理のご相談は、まず
お買上げの販売店・施工者・設備業者へ

●**お買上げの販売店にご依頼できない場合（転居や贈答品など）は、**
各窓口 へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1.お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。

2.上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。

3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
②法令等の定める規定に基づく場合。

4.個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口　住宅用換気送風機の購入相談・取扱い方法

受付時間365日24時間

●三菱電機換気送風機技術相談センター

フリーダイヤル **0120-726-471**（無料）

携帯電話・PHS・IP電話対応

三菱電機株式会社 中津川製作所
〒508-8666　岐阜県中津川市駒場町1番3号　FAX (0573) 66-5659（有料）

■**ご相談対応**　平日　9：00～12：00　13：00～19：00
（土・日・祝及び弊社休日以外）

■**上記時間帯以外のご相談（受付のみ）**

●三菱電機お客さま相談センター
フリーコール **0120-139-365**（無料）
いつも サンキュー　365日

携帯電話・PHS・IP電話の場合	
三菱電機お客さま相談センター	TEL (03)3414-9655（有料）

修理窓口　住宅用換気送風機の修理の問合せ・修理の依頼

受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター

フリーダイヤル **0120-56-8634**（無料）

インターネット **www.melsc.co.jp**

携帯電話サイト
空メールの送り先：**fc8634@melsc.jp**
またはバーコードからアクセス。
URLをメール返信します。

携帯電話・PHS・IP電話の場合		
北海道・東北 関東甲信越	東日本 修理受付センター FAX (03) 3424-1115（有料）	(03) 3424-1111（有料）
東海・北陸・関西 中国・四国・九州	西日本 修理受付センター FAX (06) 6454-3900（有料）	(06) 6454-3901（有料）

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

S11A

●電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

仕　様

定格電圧100V

形　名	ノッチ	定格消費電力（W）		風　量（m^3/h）		騒　音（dB）		質　量（kg）
		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
V-6027SL-BL V-6027SSW-BL	強	61	67	467	452	35	34	22.5
	中	40	43	340	337	26	25	
	弱	24	25	230	212	19	18	
V-6037S-BL V-6037SL-BL V-6037SSW-BL	強	96	111	628	615	43	42	22.5
	中	48	50	386	361	29	27	
	弱	24	24	237	214	19	18	
V-6047S-BL V-6047SL-BL V-6047SSW-BL	強	115	132	656	628	46	45	22.5
	中	70	73	445	405	36	34	
	弱	33	33	250	230	24	23	
V-754S	強	115	130	654	617	46	45	24.5
	中	69	71	409	376	36	34	
	弱	33	33	242	223	25	24	
V-904S	強	114	131	687	647	45	44	26.5
	中	70	73	433	395	35	33	
	弱	33	33	252	231	23	21	
V-90CF	強	103	121	564	543	45	44	36
	中	62	63	357	322	34	31	
	弱	31	30	206	189	22	20	
V-90SF-L	強	98	115	581	586	44	43	31
	中	49	51	364	341	31	29	
	弱	23	23	213	202	19	18	
V-90SF-R	強	94	114	588	601	44	44	31
	中	49	51	380	356	31	31	
	弱	23	23	221	212	19	18	

※特性はJIS C 9603に基づく

愛情点検

☆ 長年ご使用の換気扇の点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか。

- スイッチを入れても羽根が回転しない。
- 運転中に異常音や振動がする。
- 回転が遅いまたは不規則。
  ※モータ、照明ランプはメンテナンスが必要な部品です。
- こげ臭いにおいがする。

使用中止

故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。点検、修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客さまメモ

サービスを依頼されるとき便利です。

形　　名	
お買上げ年月日	年　　月　　日
お買上げ店名	
（住　所）	
（電話番号）	（　　）　　－

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508−8666 岐阜県中津川市駒場町１番３号

この説明書は、再生紙を使用しています。